

第 6 学 年 家 庭 科

教科目標

- ① 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心高め、その大切さに気付くようにします。
- ② 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにします。
- ③ 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てます。

学習計画

月	単元・題材名	時数	学習活動
4	○ くふうしよう朝の生活 ・ 生活時間を見直そう ・ 共に過ごす時間をつくろう ・ 朝食を考えよう	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日の生活時間を調べ、見直す。 ・ 家族と共に過ごす時間や朝の生活時間を工夫する。 ・ 栄養のバランスがとれた朝食のおかずを考え、調理する。
5	○ きれいにしようクイズ大作戦 ・ 身の回りのよごれを調べてみよう ・ そうじをしてきれいにしよう ・ トライ！ エコ生活	5	
6	○ 暑い季節を快適に ・ すずしい住まい方をくふうしよう ・ すずしい着方をくふうしよう ・ 洗たくをしてみよう	8	
7	○ 生活を楽しくしようソーイング ・ つくりたいものを考え計画しよう	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 布を使って生活が楽しくなる物を考え、計画を立てる。
9	・ くふうしてつくる ・ 楽しく使おう	10	
10	○ くふうしよう楽しい食事 ・ バランスのよいこんだてを考えよう ・ 身近な食品でおかずをつくろう	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1食分の献立を考え、栄養のバランスを確かめる。 ・ 身近な食品を組み合わせて、計画を立て、おかずをつくる。 ・ 家族と楽しく食事ができるよう考える。
11	・ 家族と楽しく食事をしよう		
12	○ 考えようこれからの生活 ・ わたしたちの生活と環境 ・ 感謝の気持ちを伝えよう ・ 人びとや環境とのかかわり	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の環境について、気がついたことを話し合う。 ・ 身近な人々へ感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践する。 ・ 人々や環境とのかかわりで、自分にできることを考える。
1	○ 成長したわたしたち	1	
2			
3			
授業時数の合計			55時間

家庭科の評価

観点	評価基準	評価方法
家庭生活への関心・意欲・態度	自分の生活と衣食住や家族の生活などについて関心を持ち、その大切さに気付き、家族の一員として家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習中や実習中の態度 ・ 発表の様子や内容 ・ 作品 ・ テスト ・ 家庭科ワーク など 総合的に評価します。
生活を創意工夫する能力	衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりしているかどうかという観点から見ます。	
生活の技能	生活の自立の基礎として日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技能を身に付けているかどうかという観点から見ます。	
家庭生活についての知識・理解	家庭生活を支えているものや大切さを理解し、日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けているかどうかという観点から見ます。	